

火災多発に伴う注意喚起について！！

今年に入り市内での火災発生件数は、3月23日現在で12件発生しており、昨年1年間の発生件数は15件で昨年の件数を超す勢いです。この季節は、特に空気が乾燥し火災が発生しやすく、また、強風により延焼が拡大し、大火となる可能性が高い状況です。チョットした不注意でも火災が起こりやすくなってきます。皆様方におかれましては、家庭や職場で火災予防対策を徹底し、火の取り扱いには尚一層のご注意を、お願いいたします。

家庭での防火対策



1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
5. 家のまわりに燃えやすい物を置かない。

たき火の不始末などによる火災



たき火（落ち葉の焼却や家庭ごみの焼却など）の炎が強風にあおられ、付近の枯草や落ち葉に燃え移ったり、消えたと思ってその場を離れたが、残っていた小さな火種が風にあおられ、付近の建物などに燃え移り火災が発生することがあります。

野外での焼却は、一部の例外を除き法律などによって禁止されています。例外的に認められている焼却を行う場合でも、次のことに注意し、火災を起こさないようにしましょう。

1. 風の強い日や空気が乾燥している日には行わない。
2. 火の近くに燃えやすい物を置かない。
3. 水バケツや消火器など消火の準備をする。
4. その場を絶対に離れない。
5. 消火をする場合は十分に水をかけ、灰の中に残る小さな火種に注する。